

第1回琴浦町地方創生推進会議（結果）

日時：平成27年4月21日（火）19：00～20：35

場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	22人
2. 欠席者	米原、桑本、井東、吉田、四門、川本
3. 町長挨拶	<p>人口が少なくなると活力が失われる。人口減少を食い止めて町の元気を作っていこうとしている。それは行政主導で計画していくのではなく、皆さんの意見を聞きながら一緒に作り上げ実行していく。1つ1つの計画は具体的目標やPDCAサイクルも取り入れた取り組みを展開していき、そして取り組んだ結果も求められる。町民の皆様と連携し、情報をオープンにして取り組んでいく。</p> <p>会を開くための会をするのではなく、何かの結果を出していくために会議をするということで、よろしくお願いします。</p>
4. 内容	<p>会長（佐伯）、副会長（朝倉、山本）選出。 委員紹介、地方創生全体像について説明（別添のとおり）</p>
5. 主な意見	<p>●会長 ○委員 →事務局</p> <p>○アンケートをきっちり回収しないと結果が出ない。結果が出ないと前に進めない。そこはどう考えているか。</p> <p>→直近の人権・同和教育意識調査のアンケートの回収率42%を参考に、統計学上は琴浦町の人口規模からして999人から回収があれば概ねの方向性は分かるということで、2500人を対象とした。</p> <p>○アンケートの対象者が琴浦町に限られていて、一番問題なのは、都会に出た人がどうすれば琴浦町に帰ってくるかを知ることが一番必要じゃないかと思う。また、宣伝不足というか、琴浦町じゃない方に、人口を増やすためにどのようなPRをしているのか。</p> <p>→町外に出た人の把握が難しいが、県や色々な組織がとったアンケートを活用し、できることを検討したい。どのようになったら帰ってこられるかというのは本当に聞きたいテーマだが、町外に出られた方のアンケートはなかなか難しく、既存のものを活用していきたい。</p> <p>情報提供については、26年度から実施している人口減少対策は、日本海新聞の「うさぎの耳」に4回掲載している。子育てとか色々な取り組みをお知らせし、町のホームページなども活用しているが、言われるとおり、なかなか情報がうまく伝わってないのかなと感じているので、その方法についてもまたご意見をいただけたらと考えている。</p> <p>○この総合戦略自体の評価が求められるが、この評価は1年ごとにするとか、どういうタイミングとするのか。</p>

→5年間の大きな目標がまず必要ですが、それを進めていくには1年後はどのような状態になっていないといけないか、5年後に100人移住者を増やすのであれば、1年後にはこれぐらい移住者がなくてはいけないといった検証をしながら、いわゆるPDCAサイクルを1年ごとに評価なり検証をしながら進めていくと考えている。

○評価の結果は一般に公表すると思うが、国の本部には報告するのか。

→今のところは聞いていない。

○ビッグデータは確か一般公開は今日からされていると思うが、市町村単位のデータ分析ができる。これを先行して提供されているのかどうか。琴浦町として特に産業構造とかの分析を詳細にできるものが提供されるそうだが、これをすでにされているのか、これからされるのか。

→これから国からビッグデータを示されます。入転出とか産業構造とかのデータを国から取れるようになるのですが、今現在は活用しておりません。今は誰がそれを使うのかを決め、5月に説明会があるようですので、そこで詳しく聞いた中で活用していきたいと考えている。

○町内の本部で分析されるということですね。完全版ではないようだが今日からインターネットで一般公開されているので、活用してほしい。

3点目は、これは米田コンシェルジュに聞きたいが、13ページの県の将来人口の推計で、少し出生率が回復して社会増減が0になった時にこういう数字になりますということですが、これは将来人口がこのくらいになるためにはというようなことから出生率が2.07、人口置換水準といって長期的に人口が増えも減りもしない水準ですが、社会増減0とか、人口をこれぐらいにするためにはこういふところからきているのか、それとも県で一定の政策効果なり社会条件なりを想定した上で計算するとこうなるのか、どういう仕組みか分かれば。

→ちょっと把握していません。県のホームページに出ていると思いますのでご覧になっていただきたい。

○具体的な話で、アンケートで1点気になったのが、1枚目の記入方法の1番目で、「本人による記入が難しい場合は、お送りした宛名の方が・・・」これはこれでいいと思うが、これは主として高齢の方を想定していると思うが、そのときに1番目の「あなた自身について」は、代わりに家族などが書いた場合、記入者自身の情報を書くと思うが、これが大丈夫かなど。念押しがいらぬのかと、これが杞憂ならいいが、もしタイミング的に可能なら、「本当に答えるあなた自身について」など加えたほうがいいような。これは調査会社に委託するのか。

→町が集計します。

○高齢者の方に結構いくと思うので、検討してもらえたら。

あと先ほど、可能であれば町外の人に意見を聞きたいとありましたが、県でこれに近いものをされてなかったか。琴浦という単位では難しいと思うが、いまネット調査をする会社が全国でもたくさんあり、それを使って確か鳥取県庁で、県外に出ている人に戻る意思があるか聞くというようなことがなかった

か。それがあれば、鳥取県民というものである程度参考になるのでは。したのか、しようとしているのか定かではないが。

→県に確認してみる。色々なアンケートは今あるものは活用したい。今回の人口減対策の大きなテーマの中に「子育て」があり、琴浦町では25年秋に保護者対象にアンケートもとっているの、そういうものも参考にしながら中身をつめていきたいと考えている。

○アンケートについて、18歳以上から高齢まで幅広く出されるが、特に若い世代はなかなか書いて郵送するのが難しいのじゃないかと思う。できるかできないかもあるが、例えばネットやスマホで回答するとか、特に若い世代はスマホを持っているので、もしそれができるのなら回収率もあがるのではと思うが。

→町のホームページなどを使ってのアンケートも検討したが、1人の人が何回も答えるというようなことになってはいけないという心配もある。県の電子アンケートは、回答してもらう人が登録されて決まっている。「このことについては重要なので何回も送ろう」などということがあれば、少し曲がった集計になってしまうということも危惧し、少し人数を増やし2500人にして、郵送で実施しようとしている。

●私はこういうところであまり否定的な話をしてはいけないと思うが、そもそもの取り組みの発想が、なにか悲観的というか寂しい思いをする。例えば人口が減る、そうすれば経済規模が小さくなる、それによりまた人口が減っていくという暗い社会に入るんだというような。そういうことを言わないと地方が本気にならないということでそういう言い方をされていると思うが、しっかりしなさいという反面、なんとなく暗い将来に向かっていくということが強調され、楽しくない感じがする。確かに人口が減少していくという予測はかなり当たるらしい。戦争でも起きない限り根本的に変わることはないらしいが、だけど何かに取り組みが少しは歯止めをかけることができるということだと思う。皆が知恵を出して色々取り組みをしようということだが、そういう中でも、暗いことばかりでないよと、明るい未来だってあるということを示しながら取り組みができないものか。それは地域のよい点、良さはあると思うし、そういうことを発見、再認識しながらことを進めていくということが大事ではないかと思う。もともと幸せな社会をするために取り組んでいるわけで、そこが逆にならないように。感想ですが。

○東京の外れの小笠原諸島など、住んでいる人の平均年齢が30歳台で人口が増えている。本当に自然しか、何もなくて東京都から人が流れている。小さい子もたくさんいる。必ずしも都会でなければならないということはないということを感じたので、鳥取はすごく魅力があるところだが、下手なのは宣伝不足。考えようによっては魅力ある鳥取、琴浦になるんじゃないかと思っている。

●今日は初回なので、フリーで色々話してもらって、ここにいる委員の皆さんが「よし、やるぞ」と思ってもらえればいい。

○さきほど会長が言われたことも重要だと思っていて、例えばこの総合戦略

策定も国にお尻を叩かれて期限を切られて、おどしのようなこともあるかもしれないが、この機会を利用しない手はない。町の職員のモチベーションにも関わる。

このチラシをホームページなどで意見を求められるが、これ非常にオーソドックスな内容で、もう少し先ほど会長が言われたように、「琴浦としてはこのように取り組みたい。そのためのアイデアを出してください」という前向きな呼びかけにするのも1つの手かと。このアンケートの最後も、自慢などポジティブな聞き方をするのはいいし、もう少し力強くというか前向きにするにはどうしたらよいか、検討してもらえたら。思い付きですが。

○この人口減対策はいま始まったものではなく、これまでも議会とか色々な場で議論されてきたと思うが、これまでどのような議論がされてきたのか。

→町長のマニフェストにもあるが、結局は「琴浦町に住んでよかった、安心・安全な琴浦町」に向けた施策を、その時々に行っている。その中で、人口減少に結びつくんじゃないかというものについては26年度からやってきたが、それまでは、琴浦町が安心安全なまちだということを実現していくための施策を展開してきた。それが結果的には人口減少の役に少しは立ったということはあると思うが、どういう議論がされてきたかということにはちょっと答えられない。基本的なかたちは以前から変わっていない。その延長線上に、国が1億人割ってしまう、どうしようということで去年の5月に消滅市町村が公表され、この事業がスタートしてきた。以前からどんなことをやってきたか、個別具体的には今は示せないが、示せるのは、26年度からは地方創生が叫ばれる前に人口減少対策に取り組んできたということ。

○区長をしているが、うちの部落も実際に人口減です。子どもが生まれるのも3年に1人。実際には若い人はほとんどいない。働き場が町にはないので、倉吉や米子や鳥取に通っている。すごいなと思ったのは「ひと・しごと総合戦略」、この「戦略」とはどういうものを組んでいくのか。ちょっと自分ではなかなか理解できない。若い人の働く場を確保し、家庭が安定してくれば女性も安心して子どもを産むことができるし、生活も安定して心の余裕も出てくると思う。それで初めて総合戦略云々が言えるのであって、ちょっと私たちにしては難しいなど、理解がなかなかできない。実際として部落も減る一方、空き家も見に来られるがなかなか決まらない。人口減はどうにもならない、働く場がないから。暗い話になってしまうが、実際そうだと思う、自分としては。

→この総合戦略というのは、1つのことをやってもだめだと思っている。まちが元気になるにはひと、ひとが元気になるには働く場も必要で、総合的に考えていこうということだと思っている。もちろん人口減少を止めることはできないと考えているし、国も増えるとは考えてない。いかに減少率を少なくしていくかだと思う。国では2060年に1億人をキープするんだという考え方だが、人口減少はある程度仕方ないとした上で、人口が減っても住みよい町をどう作り上げていくのかということも1つ総合戦略に位置づけることだと思っている。さらには人が増えたほうがいいね、そうすると仕事がないといけねえと、総合的に施策を創っていくことだと思っている。1番は安心・安全で住

みよい町を作っていく、その中で人はどうあるべきか、仕事はどうあるべきかということを総合的に判断して施策を盛り込んでいくということだと思っている。港町でも非常にいい取り組みをしておられるので、そういうものを我々にどんどん教えていただいたら、そのことがヒントになるのではと考えている。

●自分も部落で区長をしており、同じような悩みを持っているが、私から見たら港町の活動を見ていると、外からは明るく楽しくやっておられるように見える。それはいい面だと思う。そういうものに光を当てながら発信してもらって、町民がまず、いいところを理解する。暗いマイナス面だけあげていけない。

○推進体制のところ、この推進会議の役割について。町の施策の説明を受けて意見を言うだけの、お墨付きを付けるだけの機関なのか。事業の立案をしたら採用されることもあるのか。

→町の推進本部で協議をして決定していくが、この推進会議では、もちろん町からの説明もあるが、皆さんからの意見や提案も取り上げていきながら、修正をかけた改善をしていきたいと考えている。皆様から出てきて「これだめだ」ということはない。一旦受け止めて、ダメな部分もあるかもしれないが、役場の中でもむ中で再度お返しするという手順になると思っている。

○すでにあがっている事業以外でも、ここで出たとすれば割り込むということも可能なのか。

→それは可能だと思う。それがいいか悪いかの判断はしなければならないが、この会議で素晴らしいものであるということになれば、それは否定するものではないし、どんどん取り入れたいと考えている。

○農業関係の団体で来ているが、たとえば仕事の創生ということでは、農協では梨づくりですでに定住されていることもある。これも人口ビジョンの中で1つの重要な役割だと思っている。これは大乳さんにしろ漁協さんにしろ同じだと思う。ただ、こういう中でやる場合は分科会的な、農業に対してはどのようなことができるか、いろんな方面の各部門で積み上げたものの検討をしないといけないと、ここで思いつきで意見が出てということは、例えば自分は営農センターだが、ここには畜産というものが入っていない。畜産部門でも、それがどんな役割ができるかということもあると思う。分科会的なもので積み上げたものを検討した方が、より密度のある会になると思うので検討してほしい。

●今回は初回だが、この回の役割とか進む方向など全体的な印象を述べてもらっているが、次回からは具体的なものが出てきて、それについてどう思うかということになるのか。

→次回に考えているのは、人口ビジョンの案を示し、町として考えられる、こういうまちになったらいいなというようなイメージも少し示しながら、基本的な考え方について示したい。そこに色々な肉付けがついてくると考えている。

基本的には一次産業の振興とか、〇〇の振興とか、そういう主なものを検討していきたいとは考えている。その後色々な事業がついてくる。部会というこ

	<p>とはこれから検討にさせていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">●今回は膨大な資料が出ており、これまで見たこともない町の全体像なども出ているので、よく見て次回に臨んでもらいたい。
6. その他	<p>次回日程について</p> <ul style="list-style-type: none">●この時間帯でよいか。異議なければこの時間帯で。 <p>→事務局としては、だいたい毎月 20 日前後と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none">●日にちを決めた方が皆さんが都合がよいと思うので、事務局案で予定。 <p>5 月 20 日（水）19：00 から防災会議室で。</p> <p>20：35 終了</p>